

枚中だより

東大阪市立枚岡中学校

No. 4 平成29年7月19日発行

腰塚勇人さんの「命の授業」を受けて

校長 田中裕章

7月11日（火）3,4限 人権講演会として、腰塚勇人さんのお話を聞きました。当日はとても蒸し暑い中でしたが、しっかり話を聞くことができました。

腰塚さんの話の中には心に残るフレーズがいくつもありました。腰塚さんが首を骨折し、医者から「一生、寝たきり。よくて車いす」と言われ、絶望の淵にあったとき、自分を助けてくれた人たちがしてくれたことを、今度は自分がしようと「口は、人を励ます言葉や感謝の言葉をいうために使おう。目は、人の良い所を見るために使おう。耳は人の話を最後まで聴いてあげるために使おう。手足は、人を助けるために使おう。心は、人の痛みがわかるために使おう。」と決め、この「命の授業」を始められたということでした。

また自分には、もう子どもはできないと思っていたところに奇跡が起き、子どもを見て「人は生まれながらに人を喜ばせる力を持っている。」と感じ、人はドリー夢メーカーであると説かれました。生きていく上において夢を持ち続けることの大切さを訴え「夢は今を生きる力」「夢があるから強くなれる」と言われました。そこで自分が夢を持ち続けることと同時に人に夢を与えることも素敵なことだと「自分のドリー夢メーカーは誰ですか。あなたは誰のドリー夢メーカーですか。」という問いかけもありました。

さらに、人生において「努力を続けることこそ自分を助ける力」であり、努力が自信につながり、「自信は自分が自分とした約束を守ること」「小さな自信は大きな希望を育てる」と続けられました。

最後に、「今日まで生きてきたのは自分、これからどう生きるのかを決めるのも自分」ということで、感謝の気持ちを忘れず、自分を大切に中学校生活を送ってくださいとみんなにエールを贈ってくださいました。

多くのメッセージが詰まっていて、内容の濃いお話でした。どの部分をとっても心に残る本当に勇気づけられる講演会でした。



枚中トピックス：頑張っています、枚中生

- 伊藤園おーいお茶新俳句大賞（第28回）

佳作特別賞

「波にのり静かに海がささやきだす」

佳作

「猫たちもほんとは外でかけ回りたい」

佳作

「冬休み隣で猫が鳴いてるよ」

- バレーボール部 < 東大阪市民体育大会 > 7月2日
第1位

< 玉手山学園理事長杯 > 7月9日
第1位

- ソフトボール部 < 中河内大会 > 7月15日
第3位

- トランポリン < 第29回大阪府年齢別トランポリン選手権大会 >
13-14歳の部 第3位 46.420

< 第4回タンブリングダブルミニトランポリン競技年齢別選手権大会 >
11-12歳の部 第1位 52.100

スズメバチの巣、発見！

先日、1号館玄関ホール付近でスズメバチの巣を発見しました。

まだ、ソフトボールぐらいの大きさ
でしたので、除去作業を終えましたが、
中には数多くの幼虫を発見。こちらも
除去することができました。

今後も、“ヒアリ”等の恐れもあります。
夏休み中も十分に注意して生活し
てください。

この部分

